

秦野の今と未来を考える

第四号

発行：秦野市民の会 編集：藤田武士（工学博士） 詳細：裏面

「天の声」

地方自治体で現役時代に幹部だった公務員は、しばしばその自治体の関連団体（外郭団体など）のポジションを得ることが出来るという指摘があります [1]。秦野市は、どうでしょうか？

[1] 「あなたのまちの政治は案外、あなたの力でも変えられる」五十嵐 立青（著） ディスカヴァー携書

秦野市の現状

- ・市関連団体は、行政が選定した（と思われる[2]）議案を基に議会が承認した団体[2]

[2] 昭和31年の古い条例で議案で提出者名が記入されていない為に、「と思われる」という表記をした。

- ・市関連団体の職員は、当該団体における職務遂行に必要な専門性などを考慮して、市長などの任命権者によって任命された人物 [3]。

[3] 秦野市人事課からのメール（要約）

上記の秦野市の現状に対する問題点を簡単に述べるとすれば、市民に必要なモノ（市の関連団体及び、当該団体への人選）は何かを選定する権利が、市民に与えられておらず、市民が市民の税金で雇っている行政職員（市長など）のみに当該権利が与えられているという点です。

このような秦野がイヤならば、

「市民が税金の使い道を決める政治*」

秦野でも実現させましょう！

* 福島県・会津若松市（2008年）、千葉県・我孫子市（2005年）、etc

作成日：2023/06/26